

〈学校教育目標〉 「ゆたかな心、たしかな力」の育成

ゆたかな心

- 興味・関心をもつ
- 感じたり、表現したりする
- 目的、見通しをもつ
- 向上心をもつ
- 穏やかに過ごす
- 感謝する気持ちをもつ

(子ども) 八代支援で学んでよかった
(保護者) 八代支援で学ばせてよかった
(教職員) 八代支援で教えてよかった



子ども、保護者から選ばれる学校

たしかな力

- 生活力（楽しむ・暮らす・働く力）
- コミュニケーション力（意思を伝え合う力）
- 健康、体力（健康で元気に過ごす力）

発達段階や学部が果たす役割を踏まえた「たしかな」力を育む授業づくり

重点事項

八代地域における特別支援教育のセンター的機能の発揮

目指す学校像

- 子どもが安心して楽しく安全に学べる学校
- 一人一人に合った合理的配慮と専門的な教育を効果的に展開できる学校
- 地域に開かれ、保護者とともに歩む学校

目指す教師像

- 教育的愛情をもち、子ども・保護者から信頼され、不祥事を起こさない強い信念をもつ教師
- 専門性を自覚し学び続ける教師
- 互いを尊重し助け合える教師

〈育成を目指す資質・能力〉 ①分かる力、できる力 ②考える力、関わる力 ③やり抜く力、楽しむ力

〈経営の基本〉

- 自他の命や人権を大切にする教育
- 子どもに寄り添い、子どもの事実から学び、子どもの能力を伸ばす教育

目標達成に迫る取組

年間指導計画を踏まえ、コロナ禍の経験を生かした新たな教育活動の検討

自立活動の内容を踏まえたコミュニケーション力育成を目指す授業づくり

日常的な学部間連携を基に、発達段階や子どもの期待に応える教育課程編成

子どもの安全・安心に配慮した環境整備、意欲が高まる学部・学級経営

HP等、積極的な情報発信と八代地域のニーズに応える研修・相談支援

ICT機器を効果的に活用した実践の蓄積と成果の共有

居住地校や近隣校、関係機関等と、互いのねらいを明確にした交流および共同学習

〈3つの学部を横断〉 自立活動 ～児童生徒の中心課題に応じた指導～

各学部で育む力

小学部

連携・学びの連続性

中学部

連携・学びの連続性

高等部

- ・できること、好きなことを増やし、楽しく生活する力
- ・気持ちを伝える力
- ・元気に過ごすための力

- ・自分でできることを増やし豊かに生活する力
- ・相手に働きかけたり、相手の働きかけに応えたりする力
- ・健康で安全に過ごすための力

- ・実際の生活に生かす力
- ・周りの人と気持ちよく過ごす力
- ・自分の心身の健康に関心をもち、健康・体力の維持・向上に努める力

○一人一人の健康と安全に配慮した教育環境の整備・充実

○看護師、教員、養護教諭、担任がチームとして連携した安全・安心な医療的ケアの実施

○ヒヤリハットの情報共有、緊急時や災害時に対応した訓練等の実施と改善・充実

子どもが安全・安心に過ごせる教育環境の整備、充実